



## 募集要項

開催期間	平成30年2月15日(木)~18日(日)
会場・宿泊	国立オリンピック記念青少年総合センター
主催	内閣府、一般財団法人青少年国際交流推進センター
参加者	・日本参加者 約40名 ・外国参加者 39名 (平成29年度地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」で招へいするオーストラリア、ドイツ及びニュージーランドの青年各国13名ずつ)
使用言語	日本語(プログラム中は日英通訳がつきます)
応募資格	・23歳から概ね40歳までであること ・全日程に参加可能であること ・以下のいずれかに当てはまること 1)日本を活動基盤とする非営利団体(高齢者・障害者・青少年分野)で3年以上の活動歴のある方(職業・ボランティアの別を問いません) 2)上記非営利団体と関連がある活動もしくは仕事をされている方  ※このフォーラムでは、社団法人や財団法人、学校法人、医療法人、社会福祉法人などの公益団体、特定非営利活動促進法に基づく特定非営利活動法人、社会貢献活動を行う営利を目的としない任意のボランティア団体などをすべてを対象としています。 ※英語力は問いません。基本言語は日本語とし、英語通訳がつきます。
参加費	無料 ・期間中の食費・宿泊費・移動費は主催者負担 ・ボランティア保険に加入します。保険料は主催者負担 ・開催会場までの往復交通費は自己負担
応募方法	申込書およびエッセイを、Eメール又は郵送で提出してください。
提出書類	(1)申込書 (以下よりダウンロードしてください) <a href="http://www.centerye.org/uploads/2017/11/h29_npo_boshu.doc">http://www.centerye.org/uploads/2017/11/h29_npo_boshu.doc</a> (2)エッセイ ディスカッション・トピックの志望動機を記載してください(和文、1000字程度、WordA4サイズ1枚以内)。
提出先	一般財団法人青少年国際交流推進センター
問い合わせ先	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-35-14-6F NPOマネジメントフォーラム担当 E-mail : core@centerye.org TEL : 03-3249-0767
募集期間	平成30年1月9日(火) 午前10:00まで
決定通知	平成30年1月11日(木)までに、原則Eメールにて通知します。

### 非営利団体の定義



非営利団体の定義には、様々な捉え方がありますが、「NPOマネジメントフォーラム」では、非営利セクター国際比較研究プロジェクト JHCNP (The Johns Hopkins Comparative Nonprofit Sector Project) で使われている、以下の5点を満たした団体と定義して、ディスカッションを行います。

参考：「NPO入門(山内直人著、日本経済新聞社発行)」

- ①利益を分配しない(not profit distributing)  
NPOの最も基本的な要件。活動の結果として利潤が発生しても、組織本来のミッション(使命)のために再投資すればよいと考える。
- ②非政府である(nongovernmental, private)  
政府組織の一部分でない。ただし、政府からの資金援助を受けてはいけないという意味ではない。
- ③フォーマルである(formal)  
組織としての体裁を備えている。必ずしも法人格を持っていることを要求しているわけではない。
- ④自己統治している(self-governing)  
他の組織に支配されず、独立して組織を運営している。
- ⑤自発性の要素がある(voluntary)  
自発的に組織され、寄付やボランティア労働力に部分的にせよ依存している。

※政府セクター(public sector)：政府及び地方行政組織の活動している領域

※営利セクター(profit sector)：非政府かつ営利団体の活動している領域

※非営利セクター(nonprofit sector / voluntary sector / civil sector)：非政府かつ非営利団体の活動している領域

# NPOマネジメントフォーラム2018 参加者募集



本フォーラムは、高齢者・障害者・青少年関連の非営利分野で活躍する日本と諸外国の若手リーダーが一堂に会し、各国の非営利分野事情や活動事例を共有するための国際フォーラムです。参加者は、総合テーマのもと3つのディスカッショントピックに分かれ意見交換を行い、共生社会の実現に向け中心的な担い手となる青年リーダーの育成を目指します。

日 時：平成30年**2月15**日(木)~**18**日(日)  
会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター  
使用言語：日本語(プログラム中は日英通訳がつきます)  
応募締切：平成30年1月9日(火) 午前10時

主催：内閣府、一般財団法人青少年国際交流推進センター



## 事業目的

「NPOマネジメントフォーラム」は、高齢者・障害者・青少年関連の非営利分野で活躍する日本と諸外国の若手リーダーが一堂に会し、各国の非営利分野事情や活動事例に基づく有益な情報を共有するための国際フォーラムです。事例共有等に基づく意見交換を行い、非営利団体運営に関する理論的知識を深め、対話を通じて実践的能力を向上することで、各地域での社会活動を支え、共生社会の実現に向け中心的な担い手となる青年リーダーの育成を目指します。

## 事業概要

NPOマネジメントフォーラム2018では、高齢者・障害者・青少年分野の若手専門家や活動家が、日本とオーストリア、ドイツ、ニュージーランドから集まります。

非営利団体が、社会課題の解決に効果的に取り組むには、メンバー一人一人の自発性を最大限引き出しながら、様々なステークホルダーを巻き込み地域のニーズに応え、継続的に事業を実施できる環境を生み出すことが重要です。リーダーシップの在り方は、分野の特性や、国ごとの社会背景における非営利団体の位置づけにより様々あると考えられます。本フォーラムでは、多様なリーダーシップの在り方を認識するとともに、国や分野を超えて共通して求められる要素や条件について議論することで、共生社会の実現に向けて自団体に適用可能なアイデアを得ることを目指します。

参加者は、総合テーマのもと、以下の3つのトピックに分かれて議論を行います。

## 【総合テーマ】非営利団体運営に求められるリーダーシップ

### ディスカッション・トピック

#### 1 組織内でリーダーシップを発揮できる人材の育成

人材が重要資源である非営利団体にとって、メンバー一人一人がオーナーシップを持ち、自らの能力を最大限いかしながら行動を展開することは、効果的な事業実施のために必要不可欠です。周囲のメンバーのコミットメントを引き出し、更なる自発性を促すうえで重要な視点や行動について議論することで、組織内の人材力強化を目指します。

#### 2 地域とつながるためのコーディネーション能力

非営利団体の活動は、多様なステークホルダーを含むよりインフォーマルな関係に基づいていることが多く、多岐にわたる関係者との連携や協力は、地域のニーズを発見し、課題に対して適切な対応を検討するうえで基礎を成しています。地域のステークホルダーとの関係作り求められる条件や効果的な工夫について討議し、地域内での連携能力の向上を目指します。

#### 3 団体及び事業運営のための資金調達能力

非営利団体が継続的に事業を実施するには、共感を呼ぶビジョンを持つと同時に、そのビジョンを支持する支援者を、社会の様々な階層において見つけ、適切に発信していくことが重要です。継続的な資金調達に必要な考え方やアプローチについて検討し、事業実施の基盤強化を目指します。

## スケジュール

	2月15日(木)	2月16日(金)	2月17日(土)	2月18日(日)
AM		開会式		成果発表の準備
		全体会	ディスカッション	成果発表会
		トピック別オリエンテーション		歓迎昼食会
	受付開始(13:00~)	昼食	分野別昼食交流会	評価会
PM	日本参加者研修 ※外国青年は視察プログラムに参加中	ディスカッション	ディスカッション	修了式
	夕食	夕食	夕食	解散(16:00予定)
夜	全体オリエンテーション	文化交流会	成果発表の準備	

※日程は変更する可能性があります

## 過去の参加者の声

多文化グループで活動することから、コミュニケーションの取り方、議論の内容について共通認識や用語の定義を明確にすることの重要性など、多くを学んだ。ディスカッションの他に図を描くなど視覚的なコミュニケーションに取り組んだことも、自らのファシリテーションスキルの向上に繋がり、議論の目的や結果のみならず、プロセスを実感できる経験となった。多国籍グループでリーダーシップをとるという役割は、私自身のスキルアップにつながる機会となったことに心から感謝したい。



### エレン・ヘルツォーク

平成28年度地域課題対応人材育成事業  
「地域コアリーダープログラム」ドイツ団团长  
アルハイター・キント所属

「広報における企業との連携」というトピックで、広報という共通点を軸に、各国の社会背景や個人の背景を共有することで、自分の世界観が広がり、多くのアイデアを整理しなおすことができました。より多くの人にとって生きやすい世の中を創りたいという想いを胸に、それぞれの分野で日々活躍する熱意溢れる人材が、国境を越えて一同に集まります。そこから生まれる新たなネットワークやアイデアはこのフォーラムでしか得られず、メンバーとの交流は参加から2年経った今でも続いています。



### 山下恭子

NPOマネジメントフォーラム2015日本参加者  
小学館集英社プロダクション所属(当時)

## 昨年の参加者の所属一覧

フィンランド身体障害者協会	マルテザー救済支援事業(ドイツ)
フィンランド高齢者福祉協会	連邦国際ユースワーク専門機関(ドイツ)
フィンランド赤十字	エイジUK(英国)
セクシャル・マイノリティ権利保護団体Seta(フィンランド)	ロイヤル・トリニティ・ホスピス(英国)
フィンランド平和教育協会	非営利ボランティア団体全国協議会(英国)
ドイツ・オリンピックスポーツ連盟	ザ・プリンス・トラスト(英国)
ドイツアルツハイマー協会	ガール・ガイディング(英国)
ディアコニー福祉事業団デュッセルドルフ(ドイツ)	

## 地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」とは

多様な個人が能力を発揮しつつ、自立して共に社会に参加し支えあう「共生社会」を地域において築いていくためには、住民や非営利団体、行政機関等による取組の充実が必要不可欠である。こうした認識の下、平成29年度地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」※では、各地域で高齢者関連、障害者関連及び青少年関連の課題解決に向けた取組に携わる日本青年を先進事例のある外国への派遣、同様の課題解決に取り組む外国青年の招へいを行い、組織で活動する青年同士の交流を促し、各分野の課題対応に当たって必要な知識とともに、団体の運営、関係機関等との連携及び人的ネットワーク形成に当たって必要となる実務的な能力の向上を図ることを目的として実施する(※平成27年度まで、「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」として実施)。

派遣プログラムの訪問国活動及び招へいプログラムの日本国内活動は、以下の分野別テーマに基づいて設定する。

- ◎高齢者分野：地域における高齢者支援に必要な連携
- ◎障害者分野：地域における障害者の社会参画の更なる拡大
- ◎青少年分野：子供・若者の育成支援に関わる人材の養成

### ◆外国青年招へい(2018年2月13日~27日)

オーストリア、ドイツ、ニュージーランドからは、高齢者・障害者・青少年分野で活躍する青年を各国から13名(各1名の団長を含む)ずつ招へいする。招へい者は、日本国内の施設訪問やNPOマネジメントフォーラムへの参加、分野別セミナーやホームステイを含む地方プログラムを通じて日本の青年との交流を行う。

### ◆日本青年派遣(2017年10月8日~17日)

各国への日本派遣団は団長1名と参加青年8名によって構成。ドイツを訪問する代表団は高齢者分野、ニュージーランドへの代表団は障害者分野、オーストリアへの代表団は青少年分野の社会活動に携わっている。代表団は各訪問国において、関連分野の施設訪問や現場活動の視察分野に加え、訪問団体職員との意見交換やホームステイを行った。



ドイツ団(高齢者分野)  
ドイツ高齢市民組織全国協議会(BAGSO)を訪問



ニュージーランド団(障害者分野)  
障害者連合ニュージーランド(DPA)を訪問



平成28年度招へいプログラムにおけるフィンランド、ドイツ、英国からの外国参加青年



オーストリア団(青少年分野)  
難民や移民によって運営されるマグダスホテルにて